



【1】一種研開催報告

2025年9月的一种研を9月17日(水)~19日(金)の3日間にわたって東京農工大学で開催しました。昨年の9月と同様、マイクロ波研(MW)と併催しました。各研究会の一般講演の他、AP研チュートリアル講演1件、電波伝搬オーガナイズドセッション7件、学生-企業交流イベントでのポスター講演(学生56件、企業27件)、合計で108件の講演がありました。

1日目(9/17)のAP研チュートリアル講演では、九州工業大学の廣瀬先生に「損失関数から考える電波伝搬推定のための機械学習モデル」と題して講演いただきました。複数都市環境における機械学習を用いた伝搬推定について、識別モデルと生成モデルを比較し、損失関数の重要性についてわかりやすく説明していただきました(写真1)。それに引き続き、電波伝搬オーガナイズドセッション「機械学習を用いた電波伝搬」が行われました。様々な環境での伝搬損失の推定だけでなく、時空間特性や瞬時変動の推定についての発表がありました。夕方からは関係者による懇親会も開催されました。オーガナイザーやご講演者の皆様、お疲れ様でした。



写真1 AP研チュートリアル講演
(廣瀬先生)

2日目(9/18)は、学生-企業交流イベントが行われました。学生は研究内容の発表を、企業および研究機関は事業や研究・開発の取組みの紹介をポスター形式で交互に行いました。今回は例年に比べて企業・研究機関の参加が多く、非常に盛況でした(写真2)。その日の夕方に懇親会が行われ、優秀な発表を行った10名の学生には表彰状が送られました(写真3)。このイベントについては今回で7回目となりますが、この活動が研専運営会議から評価され、産学活性化課題検討WGにおいて、各研専でこの活動を広げていくことになりました。参加企業および情報、ならびに優秀ポスター発表者については下記URLをご覧ください。

https://www.ieice.org/cs/ap/event/student_industria/



写真2 学生-企業交流イベント
(企業ポスター)



写真3 研究会懇親会
(学生優秀ポスターの表彰者)

【2】IEEE AP-S MGA Lecture Event in Japan 報告

9月16日(火)にIEEE AP-Sの日本の4チャプターの共催で、Member and Geographic Activity (MGA)

レクチャーイベントを開催しました。Recent Trends and Challenges in Antennas and Propagation Technologies by IEEE AP-S Representatives と題する、アンテナ・伝搬の最新の研究内容に関する講演です。AP-Sのプレジデントである Prof. Christophe Fumeauxをはじめ5名の海外ゲストの講演と、日本の4名の新進気鋭の先生方(戸村先生, 今野先生, 廣瀬先生, 村田先生)の講演が行われました。いずれも素晴らしい講演であり、活発な質疑応答が行われました。海外ゲストからも高評価をいただきました。その他、ランチミーティングでは日本の各チャプターやAP研の活動を紹介し、アクティビティの高さをアピールしました。イベントの最後に、IEEE AP-Sと通信ソサイエティとでMOUの調印式が行われました(写真4)。来年から4年間、AP分野の今後の発展のために協力していくこととなりますので、ぜひこの関係を深めていければと思います。また、17日(水)にはAP研にて、Prof. Christophe FumeauxによるAP-S President's talkが行なわれ、AP-Sの活動について詳細に紹介いただきました。



写真4 IEEE AP-S MGA Event
(MOUの調印式)

【3】電子情報通信学会ソサイエティ大会報告

暑さが続く、9月8日(月)~12日(金)に、2025年電子情報通信学会ソサイエティ大会が岡山大学の津島キャンパスにて開催されました。A・P研関係の発表件数は合計120件で、昨年度の143件と比べると23件減少しており、特にB-1Cが減っています。[B-1A:4セッション(21件), B-1B:10セッション(60件), B-1C:4セッション(23件), BS-1:3セッション(11件), BCS-1:2セッション(5件)]。会場では多くの人が聴講し、活発な質疑応答が行われました(写真5)。



写真5 ソサイエティ大会
(岡山大学)

【4】副委員長の戯言

◆夏休みの理科研究(クイズの答え)

前号のクイズは、「私の娘が夏休みの理科研究で、鶏の骨を4種類の飲み物(①水、②炭酸水、③コーラ、④スポーツ飲料)に20日間浸して骨の重さの変化を調べました。4種類の飲み物の中で、骨を溶かす飲み物の順番はどうなると思いますか?また、どれくらい骨が溶けると思いますか?」でした。答えは下表の通りです。骨を溶かす飲み物は、スポーツ飲料⇒コーラ⇒炭酸水⇒水 の順でした。スポーツ飲料の場合は、半分の重さになりましたが、恐らくクエン酸の影響が大きいと思われます。単なる水でも重さが減っており、骨の内部が溶け出したと思われます(腐敗臭がすごい)。コーラの場合は真っ黒に変色し、明らかに見た目が悪かったので、娘はもうジュースを飲む気にはならないと言っていました。

飲み物(溶液)	骨の重さ(実験前)[g]	骨の重さ(実験後)[g]	重さの差[g]	重さの比(後/前)
水	2.70	2.26	0.44	0.84
炭酸水	2.75	2.10	0.65	0.76
コーラ	2.63	1.56	1.07	0.59
スポーツ飲料	2.28	1.15	1.13	0.50

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 大島 一郎 (電気興業)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET : A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP : <https://www.ieice.org/cs/ap/>

